

連携

栗原市立栗原中央病院

広報誌

編集：広報委員会、地域医療連携室

平成25年2月発行

第45号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

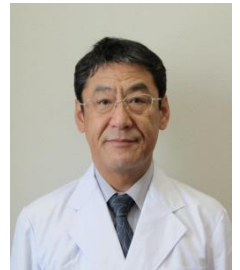
基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

『平成25年の新年にあたり』

栗原中央病院 小林光樹



明けましておめでとうございます。今年も栗原中央病院とよろしくおつきあいいただきたいと思ひます。

栗原市を含め県北の地域医療に貢献するために、今年も気を引き締めて仕事にあたっていきたいと考えています。どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。

地域医療連携とは、その言葉通りに一緒に手を携えて物事を進めていくことだと思ひます。そのためのコミュニケーションを密にしていくことが課題の一つでしょうか。これからの地域医療は、ますます単独の医療機関がスタンドアロンで自己完結的に機能していくことが難しくなるのではないかと思われます。それよりは、インターネットの世界のようにコミュニケーションを取り合いながら、お互いの機能を補完しながら機能を全うすることが大事になってくるような気がします。

一方で、県北の地域医療で取り組まなければならない課題の一つに、時間外・時間内を含めた救急診療に関する機能連携があると思ひます。平成23年度に栗原中央病院で受け入れた救急車の搬送台数は1730台でした。うち、約半数が入院治療となっています。ただし、救急車を介さない救急患者数は3006人でいわゆるウォークインが救急車受け入れ台数の倍近くになっています。人気テレビ番組のERのように病院の救急体制ができていと勘違いをしているのかもしれない。全国的に、医師をはじめとする医療者の不足が救急医療の危機の端緒になっていると思ひますが、これに拍車をかけているものに、いわゆるコンビニ受診や救急車のタクシー代わりとしての利用などの利用者のマナー低下があると思ひます。将来的に栗原市での救急医療体制が壊れてしまわないように、われわれは慎重に配慮していかなければならないのではないのでしょうか。その点では、地域医療連携室の役割はさらに大きくなっていくものと予想していますし、栗原中央病院では地域医療連携室の職員を増やして機能の拡大を図っていきます。三人よれば文殊の知恵とも言ひますし、毛利元就の三本の矢の喩え話もあります。連携が進めば、県北の医療がより大きな力を発揮できるように思われます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350

<http://www.kam.or.jp/central/index.html>

地域医療連携室（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336

部署紹介
内視鏡室



内科部長兼内視鏡室長 佐藤晃彦

当院は日本消化器病学会ならびに日本消化器内視鏡学会の専門医指定病院に認定されており、現在 8 名の消化器内科医が常勤しております。医療圏人口約 8 万人の栗原地区の中核病院として、周辺病院や地域の一般臨床医と密接な連携をとりながら、あらゆる消化器疾患に対応しており、登米、大崎、一関医療圏からも紹介患者を受け入れております。

内視鏡検査は、消化器診療における必要不可欠な手段として、その役割がますます大きくなっています。内視鏡室には、内視鏡技師資格を持つ 4 名の看護師と助手 1 名が配置されており、上部消化管、下部消化管、胆道、膵臓の通常検査・治療のほか、夜間、休日の緊急内視鏡にも対応しています。内視鏡検査の総数は年間約 3500 件に達します。腹部症状のある方や健診で異常を指摘された方に受けていただく診断目的の内視鏡検査に加え、様々な消化器疾患に対する内視鏡治療も行っております。胃潰瘍や十二指腸潰瘍、食道静脈瘤、大腸憩室出血などを原因とした消化管出血に対する止血処置（エタノール局注、ボスミン局注、クリップ留置、凝固止血、トロンピン散布、静脈瘤結紮）、早期胃癌や食道癌、大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除術（EMR）、消化管通過障害に対するバルーン拡張術やメタリックステント留置術、閉塞性黄疸や胆管炎に対する内視鏡的胆管ドレナージ(EBD)、総胆管結石に対する採石治療、経口摂取困難な患者様に対する胃瘻造設など多岐に及んでいます。従来、外科手術を必要としたこれらの疾患が、より低侵襲の内視鏡治療により治療できることは患者様に大きな福音をもたらすものです。一方で、内視鏡医には、より高い専門性が求められるとともに、内在する偶発症の危険はより重篤となっていることを心に留める必要があります。私達は、安全かつ患者様に苦痛の少ない検査を第一として、独善に陥らず、無理のない適切な運用を心がけております。ハイビジョン内視鏡や Narrow Band Imaging システム、経鼻内視鏡、内視鏡の形状をリアルタイムに 3 次元的に表示できる観測装置（通称：コロナナビゲーションシステム）を導入するなど、設備の充実にも努めております。

現在、消化器疾患の内視鏡診断・治療に関しては、当院にてほぼ完結できる状況にあります。私達はこれからも高水準の内視鏡医療を提供できるように日々専門的知識や技能の習得、向上に努めてまいります。

《内視鏡件数の実績》

(単位：人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去 他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクト ミー他		
4月	136	11	6	6	63	14	14	250
5月	198	16	2	5	99	12	19	351
6月	188	7	5	9	134	19	16	378
7月	179	5	3	4	132	21	26	370
8月	160	4	4	1	111	12	30	322
9月	160	5	4	3	91	20	27	310
10月	212	4	9	3	99	32	23	382
11月	171	14	6	10	72	26	23	322
12月	159	8	2	3	55	24	18	269

学会・研修会・論文発表

- ☆XXXI World Congress of Internal Medicine November 11-15, 2012 ~ Santiago, Chile ~
『Aggravation factors and fatality rate of acute pancreatitis-analysis of nationwide survey of acute pancreatitis in JAPAN-』
…Masaru Koizumi, Makoto Otsuki, Tetsuhide Ito, Tooru Shimosegawa, Japan
- ☆日本放射線技術学会雑誌第 68 巻第 11 号 2012.11.20 P.1456-P.1466
『傾斜板法を用いた 3D 撮像のスライスプロファイル計測に対する一考察』
…吉田 礼 1,2, 町田好男 1, 小倉隆英 1, 田村 元 1, 引地健生 2, 森 一生 1
東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 1, 栗原市立栗原中央病院放射線科 2
- ☆第 30 回産業医科大学学会総会 2012.10.20 ~福岡県北九州市~
シンポジウム 『災害後の産業保健活動・臨床活動』
シンポジスト 『3・11 東日本大震災の教訓と福祉避難所の経験＝環境の問題＝…赤井健次郎』
- ☆第 50 回日本糖尿病学会 東北地方会 2012.11.10 ~仙台市~
『リラグルチド導入により反応性低血糖が回避された 2 型糖尿病の 1 例』
…鈴木慎二 1, 木田真美 1, 大内可奈子 2, 佐藤修一 1, 小泉 勝 3 栗原市立栗原中央病院 内科 1, 薬剤部 2, 健診センター 3
『アルコール性肝硬変による肝性浮腫改善後、顕在化した 2 型糖尿病の 1 例』
…木田真美, 鈴木慎二, 佐藤修一, 小林光樹, 小泉 勝
『コントロール不良の 2 型糖尿病において、アルコール性肝硬変を母地に発生した HCC 症例』
…木田真美, 佐藤修一, 小泉 勝, 小林光樹, 鈴木慎二
- ☆第 155 回日本循環器学会東北地方会 2012.12.8 ~仙台市~
『Quadricuspid aortic valve with four equal cusps の 1 例』…千葉貴彦, 小松誠司, 赤井健次郎
- ☆第 12 回日本医療マネジメント学会東北連合会 2012.11.23 ~秋田県秋田市~
『ピーチチェア位の安全安楽なポジショニングの検討』
…澤邊直美, 早坂沙織, 三橋澄子, 曾根勝恵 手術室看護師
『2 種類の腹帯のずれの違いを検証してみた』
…菅原貴弘, 赤坂千代, 加藤薫, 熊谷智恵美, 千葉理恵 3 階西病棟看護師
- ☆第 2 回東北放射線医療技術学術大会 2012.11.3-4 ~仙台市~
『コイル選択指標としての差分マップ法による SNR の有用性の検討』
…吉田 礼, 千葉崇宏, 八重樫文勝, 鈴木俊英, 佐藤恵美, 東 知佳, 安保貴土, 高橋あゆみ, 引地健生
放射線科

◎人事異動

所属・職名	氏名	適要
診療部・内科部長	森 安 章 人	平成 24 年 10 月 31 日付け退職

当院で開催された研修会等

腹部超音波研修会

開催日：平成 24 年 11 月 12 日（月）午後 6 時～
講 師：秋田赤十字病院
第 3 内科部長 石田秀明 先生
演 題：『胆嚢病変の診かた』



学術講演会

開催日：平成 24 年 11 月 13 日（火）午後 6 時～
講 師：東北大学大学院医学系研究科
肢体不自由学分野 教授 出江紳一 先生
演 題：『運動障害のある患者の診療のポイント』



臨床病理検討会

開催日：平成 24 年 12 月 5 日（水）午後 5 時 45 分～午後 7 時 30 分

司 会：外科部長 大橋裕介 先生

病理指導者：東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野教授 笹野公伸 先生

症例及び症例提示者：

- ①Intrahepatic cholangiocarcinoma の一例…外科医員 高橋宏和 先生
- ②胆嚢内乳頭状発育を主体とした胆嚢早期癌の一例…臨床研修医 1 年 川口陽史 先生
- ③Her 2 陽性胃癌の一例…臨床研修医 1 年 村山千尋 先生

概 要： 医師 16 名、看護師 2 名、臨床検査技師 3 名が参加されました。

栗原圏域リハビリケアマネ研修会

開催日：平成 24 年 12 月 12 日（水）午後 6 時～

概 要：栗原圏域理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護支援専門員合同研修会を栗原中央病院にて開催しました。今回の研修会は「ケアマネジャーとリハビリテーション専門職の連携について考える」というテーマで参加者数 82 名（リハ職 43 名、ケアマネ 38 名、その他 1 名）と大変多くの方々に参加していただきました。宮城県ケアマネジャー協会栗原支部副支部長の片倉朋和氏にケアマネジャーの業務や役割、連携についての講話をいただいた後グループワークを行いました。参加された方々から「現在は書面上のコミュニケーションのみなので、サービス利用者様の安心の為に顔を合わせてのコミュニケーションがとれるようになることが今後必要」「その方の生活にあったものをそれぞれの立場から実際の場面を見て専門的な情報を提供できる環境づくりが大切」との御意見をいただき、栗原市内での医療と介護の連携に大いに役立てていける研修会であったと思いました。

リハビリテーション科 理学療法士 若生典子

クリスマスコンサート

開催日：平成 24 年 12 月 18 日（火）
午後 6 時 30 分～

概 要：くりくり保育園の園児によるかわいらしい歌と遊戯そして職員バンドの演奏と、楽しいひと時でした。



《整形外科診療時間のお知らせ》

すでにご案内させていただいておりますが、当院の整形外科外来の診療は予約制となっております。新患様の受付は、午前 10 時までです。午後は手術等で診療が困難となる場合が多く、緊急の場合は、整形外科担当医までご連絡願います。

《今後行われるイベントのお知らせ》

コンサート&講演会

日 時：平成 25 年 3 月 4 日（月）
午後 6 時 30 分～

場 所：栗原中央病院 2 階講義室

テーマ：「生きること 歌うこと」（仮題）

講 師：シンガーソングライター

やなせ なな さん

がんを克服し シンガーソングライターとして被災地をはじめ全国でコンサートを行い、生きることの意味や手を携え合うことの大切さを歌を通して呼びかけます。

こころに沁みわたる歌声とともに、講演を予定しております。ご期待くださいませ。

（がん患者・家族相談支援事業）

地域医療連携室学術講演会のご案内

日 時：平成 25 年 2 月 13 日（水）
午後 6 時 30 分～

場 所：栗原中央病院 2 階講義室

テーマ：「脳卒中診療と地域医療連携について」

講 師：大崎市民病院 脳神経外科

脳卒中センター長 吉田 昌弘 先生

編集後記

寒い毎日が続いておりますが、窓から差し込む日差しの中にはかすかに春の兆しを感じられるこの頃です。

地域医療連携室は、栗原市民の皆様が安心して生活していただけますよう、地域の医師会の先生方や登録医の先生方、地域の介護福祉関係者の皆様と連携を強化してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

（地域医療連携室 千葉）

